

JICA留学生の関西地域理解を深めるプログラムを実施 伝統産業である信楽焼の継承と発展

2024年7月25日(木)、独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）は、滋賀県甲賀市でJICA留学生* 向けに「伝統産業である信楽焼の継承と発展」と題したプログラムを実施します。

本プログラムは関西の大学院で学ぶアジア、アフリカのJICA留学生16名を対象に、関西の歴史や文化の理解を深める「地域理解プログラム」の一環として、信楽焼の歴史、伝統の継承、発展、世界への発信方法を学ぶことで、自国の伝統産業について考える機会を提供するものです。

滋賀県立陶芸の森**において、信楽焼の歴史や施設の目的等の講話の後、施設内の登り窯等の見学を行い、創作研修館（アーティスト・イン・レジデンス）では世界各国から来日している陶芸家による作品制作の現場を学びます。

開発途上国に限らず日本でも、伝統産業の重要性を認識し、継承していかなければ、衰退してしまうことも少なくありません。その土地を象徴するような伝統産業は、地域住民の誇りであるばかりでなく、観光資源として地域の社会・経済の発展に有効活用できます。信楽焼は日本六古窯の1つとして長い歴史を持ちながらも、時代のニーズに応じたさまざまな製品を生み出し続けてきました。信楽焼から、JICA留学生が関西、滋賀県の歴史、文化を深く理解するだけでなく、自国の伝統産業の継承の重要性を理解することが期待されます。

本プログラムには日英通訳も同行しますので、ぜひ取材を検討ください。取材をご希望の場合は、7月24日（水）17:00までに以下の問合せ先までご連絡ください。

<当日のスケジュール> 2024年7月25日(木)

時間	内容	会場
9:45～10:15	滋賀県立陶芸の森 講話	滋賀県立陶芸の森 (滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7)
10:15～11:45	滋賀県立陶芸の森 施設見学	

・多少前後する可能性があります。また、本件は別途ご案内の「甲賀市における障害者支援を通じたインクルーシブな社会の実現」（13:00以降）と同日実施です。

【本件に関する問合せ先】

JICA 滋賀デスク 森川 真秀（もりかわ まさひで）
Mobile: 080-8506-3713（携帯） E-mail: jicadpd-desk-shigaken@jica.go.jp

- * JICA留学生：開発途上国からJICAの人材育成プログラムで来日し、日本の大学院（修士課程・博士課程）で学ぶ留学生。行政官、研究者、民間企業出身者など、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。自身の専門の研究とともに、日本の歴史と文化を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。2024年5月時点でアジア、アフリカ、中南米など約250名が関西地域の13大学院に在籍しています（うち滋賀県内約40名）。

- * * 滋賀県立陶芸の森：やきものを素材に創造・研修・展示など多様な機能を持つ公園として、また、人・物・情報の交流をとおして地域産業の振興や新しい文化創造の場とするとともに、滋賀から世界へ情報を発信することを目的に整備され、平成2年6月に竣工、開設されました。大きく分けて4つのエリアから構成され、目的に合わせて、コンセプトの異なるそれぞれのエリアを楽しんでいただけます。文化・芸術の発信地として、園内にはいたるところに陶芸家の作品を屋外展示、また自然豊かな公園としてもご利用いただけます。
(滋賀県立陶芸の森ホームページ <https://www.sccp.jp/what-sccp-is/about-mori/> より)